

ニューヨークでは、毎日が新鮮、新発見

保育士になって6年目。「音楽が好きで、子どもたちとは毎日、歌や手遊びで、楽しくふれあっています」



平和の大切さ、 これからもずっと伝えたい

中嶋 歩惟さん

NPT(核不拡散条約)再検討会議
大阪自治労連代表団員
富田林市職労 青年部長

労働組合が平和に
取り組むって大切

「平和運動って、初めは恥ずかしくなかったけれど、もっとオープンでいいなと思うようになりました」ニューヨークでの体験を満面の笑顔で語ります。英語が苦手でもドキドキしながら始めたセントラルパーク前での署名行



世界各国の青年とも交流を深めま

代表団みんなの
熱い思いを一つに

動、温かく署名に添えてくれた現地の人たち、マンハッタンのビル街にシユプレヒコールがこだました1万人のパレード、世界の人たちとの出会い、大阪自治労連を代表しての発言「毎日が新鮮で、発見の連続でした。」
印象に残ったのは、アメリカ反戦労働組合との交流会。「なぜ労働組合として平和運動に取り組むのか？」という問いに、教職員組合(USLAW)のマイケル・スイングさんが答えました。「私たちの家族、親戚、知人に戦争犠牲者がいる。戦争にたくさんのお金が使われて医療費が削られている。平和を実現するためには国の役割が大切です。国を動かすために、自分たち一人ひとりが考え、行動しなければならぬ」と。「私にとっ
て大きな発見でした。労働組合が平和運動に取り組むことの大切さをあらためて感じました。」
最初は「ニューヨークに行ってみよう」という軽い気持ちだったのが、事前の会議に参加するうちに「自分はこんなに大きなことに参加するんだ」と実感。「やるからには、何か形に残したい」と意気込む一方で、団長に選ばれた責任の重さに「自分はどうしたらいいのか」と悩むこともありました。
「でも、代表団のみんなが私を支えてくれたんです」。英語のメッセージを添えたハート型の「折り鶴」を400羽つくって現地へ配ったり、大阪らしく「笑いSMILE」の背文字の入った「青色ハッピー」を着て行進したり、現地でのどんなアピールをするのか、毎回の会議や交流会でアイデアを出し合って決めました。
「みんなの熱い思いが集まって、本当に大きな力が発揮できたと思います。ニューヨークで経験したことを多くの人に伝えたいし、もっと勉強したい。代表団で参加した仲間とも、また一緒に、いろんな活動をしていきたいいな、と思っています。」



いっぱい交流できて
楽しかった！

100人が参加して
クイズ、ゲームが大盛り上がり

大阪自治労連青年部は新入職員歓迎会を6月5日(土)に大阪市内で開催しました。この春に就職した府下各自治体の新入職員や、各単組の青年部役員など100人が参加。クイズやゲーム、交流会で大きく盛り上がりました。「他の市の方とも、いっぱい交流ができて、とても楽しかった」「職場に配属されて2ヶ月たって、お互いに今の思いを伝えました」と感涙が寄せられています。

大阪自治労連 青年部が
新採歓迎会

思いを伝えあつて
はげみになった

おおさか
自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合)

2010年6月15日 No.257

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15大阪タワー
会館4F ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人/前田 仁美 編集人/久保 貴裕
1990年9月12日第3種郵便物認可
毎月15日発行(1部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。